

(3) 脳神経外科

小児脳神経外科のエキスパート目指して

国立成育医療センター脳神経外科は新設の科であり国立成育医療センター開設とほぼ同時に活動を開始した。初めての手術が行われたのが4月30日であり、3月末までに約100例の手術症例を重ねることができた。国立成育医療センター脳神経外科の目指す医療をまとめると次のようになる。

- (a) **臨床重視**：手術、臨床教育、臨床研究の3本柱のもとに適格な診断に基づき手術適応を厳密に検討し外科治療を行っていく。立派な手術成績を目指すと共に次世代の小児脳神経外科を担える若手医師のトレーニングにふさわしい環境を作っていきたいと考えている。
- (b) **チーム医療**：高い専門性に基づいたチーム医療を目指す。専門各科との連携は手術および入院・外来診療において極めて重要である。形成外科と共同で頭蓋顔面奇形手術を行い、リハビリテーション科・神経内科とは協力して痙性に対する機能的脊髄後根切断術へ取り組み、神経放射線カンファレンス・腫瘍カンファレンス・胎児カンファレンスなど関係各科との合同カンファレンスにも積極的に参加している。悪性脳腫瘍治療においては血液腫瘍科・放射線科医師と共に手術適応、切除範囲を決定している。外来診療では二分脊椎外来、頭蓋顔面奇形外来などの専門外来開設を今年度中に行うべく取り組んでいるところである。
- (c) **先端医療、政策医療への取り組み**：ナショナルセンター脳神経外科として取り組まなければいけない課題である。胎児医療については胎児診療科・特殊診療部とともに診断・治療に取り組むと共に胎児脳室拡大/水頭症について臨床研究をすすめている。脳神経外科手術にあたっては神経内視鏡の応用など低侵襲手術をすすめると共に、困難な病変に対しては神経ナビゲーション、術中神経生理学的手技を用いたより安全性の高い手術を目指している。救急医療においては救急診療科・集中治療科との連携のもとに小児重症頭部外傷への取り組みを始めた。日本では取り組みのおくれていた障害児医療の分野においても脳性麻痺小児を中心とした痙性麻痺に対する外科治療を軌道に乗せることができた。今後は難治性てんかんに対する外科治療にも本格的に取り組んでいきたいと考えている。
- (d) **社会との接点**：脳神経外科開設後、日本水頭症協会・日本二分脊椎症協会には多大な援助をいただいていた。これからも社会性の高い問題には積極的に取り組み、各種患者会とも緊密な連絡を取り講演会・市民講座など開催していきたいと考えている。

脳神経外科開設1年の歩み

- (a) **脳神経外科の活動状況**：手術件数は次ページの表に示す通りである。当科の特色として1才以下の手術件数が55件(うち、新生児10件)と全手術件数98件の半数以上を占めることがあげられる。小児専門病院としての使命と役割がこの年齢層に著明に反映されているといえる。手術件数は徐々にしかし確実に増加してきており現在は月10件前後となっている。受け持ちとして診ている入院患者数は20名前後である。外来診療は週2回(火、木)であるが毎回10-15名、うち新患が3-5名で終了時間が午後2時過ぎになることも珍しくない。今後はスタッフを充実させ患者増に対応していく予定である。
- (b) **手術の概況**：手術の概要の詳細は国立成育医療センターホームページ脳神経外科の項目に2002年度の報告を載せるのでご参照下さい。水頭症に対して神経内視鏡手術を積極的に行っていること、先天奇形・脳腫瘍手術時に術中神経生理学的手技を導入し神経機能温存を目指していること、胎児診断例に対しては胎児診療科、新生児科と共同のプロトコールを作成し治療にあたっていること、脳性麻痺小児の痙性に対する手術など小児機能的疾患に対しても積極的に取り組んでいることが特色である。今年度以降はてんかん外科にも積極的に取り組む予定である。

研修

(a) 講演会

- 2002年5月28日 小児てんかん外科の適応と術前評価：大坪 宏(トロント小児病院)
- 2002年10月9日 乳幼児中枢神経系血管障害に対する血管内手術：新見康成(ベス イスラエル医療センター)
- 2003年2月15日 日本二分脊椎症協会 医療講演会

(b) 班会議

- 2002年12月6日 厚生労働省特定疾患対策事業 「難治性水頭症」の調査研究班(班長：山崎麻美)

(c) 臨床小児神経外科カンファレンス

- 2002年7月31日、9月5日、12月26日、2003年3月6日

2002年4月—2003年3月手術件数

水頭症	<i>Hydrocephalus</i>	36			
	VP/SP シヤント (新設)		VP/SP shunt, newly setup		13
	VP/SP シヤント (再建)		VP/SP shunt, revision		4
	神経内視鏡手術		Neuroendoscopic surgery		13
	その他		Others		6
先天奇形	<i>Congenital anomaly</i>	24			
	二分頭蓋		Cranium bifida		2
	二分脊椎		Spina bifida		
	脊髄髄膜瘤		Myelomeningocele		4
	脊髄脂肪腫		Spinal lipoma		7
	先天性皮膚洞		Congenital dermal sinus tract		2
	頭蓋骨縫合早期癒合症		Craniosynostosis		5
	くも膜嚢胞		Arachnoid cyst		3
	軟骨異形成症		Achondroplasia		1
腫瘍	<i>Tumor</i>	11			
	脳腫瘍		Brain tumor		
	開頭術		Craniotomy		8
	定位的生検術		Stereotactic biopsy		1
	頭蓋骨腫瘍		Skull tumor		1
	頭蓋底腫瘍		Skull base tumor		1
機能的疾患	<i>Functional lesion</i>	8			
	痙性麻痺		Spasticity		
	機能的脊髄後根切断術		Functional posterior rhizotomy		7
	難治性疼痛		Intractable pain		1
外傷	<i>Trauma</i>	4			
	急性硬膜下血腫 (分娩外傷)		Acute subdural Hx. (birth injury)		1
	陥没骨折		Depressed fracture		1
	慢性硬膜下腔液貯留		Chronic subdural fluid collection		
	SP シヤント		SP shunt		1
	穿頭洗浄術		Burr hole irrigation		1
血管障害	<i>Vascular lesion</i>	2			
	くも膜下出血		Subarachnoid hemorrhage		1
	脳動静脈奇形		AVM		1
その他	<i>Others</i>	13			
	頭蓋内膿瘍		Intracranial abscess		5
	その他		Others		8
			Total		98 cases
術中神経生理学的手技施行例		Intraoperative Neurophysiology			24 cases
神経内視鏡使用手術		Neuroendoscopic procedure			19 cases

国立成育医療センター脳神経外科

